

科目	事業名	広域常備消防費													
	政策体系	安全で安心して暮らせるまちをつくる													
		消防・救急医療体制の充実													
	款	09 消防費		項	01 消防費		目	01 常備消防費							
	予算額 (前年度比)	財 源 内 訳													
764,725 千円 (+39,397 千円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等									
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	764,725 千円									
主管	1 事業目的 消防に関する事務を尾張中部広域圏で行うため、清須市、北名古屋市及び豊山町で構成する西春日井広域事務組合へ、当該組合格約で定める応分の負担金を支出する。														
	2 事業内容 西春日井広域事務組合格約第8条の規定により、西春日井広域事務組合へ負担金を支出する。														
	(1) 西春日井広域事務組合消防負担金														
	ア 負担割合														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>割 合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>均等割</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>住民基本台帳人口割（前年10月1日）</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>組合構成市町の基準財政需要額割（前年度）</td> <td>70%</td> </tr> </tbody> </table>						項 目	割 合	均等割	20%	住民基本台帳人口割（前年10月1日）	10%	組合構成市町の基準財政需要額割（前年度）	70%	
	項 目	割 合													
	均等割	20%													
	住民基本台帳人口割（前年10月1日）	10%													
	組合構成市町の基準財政需要額割（前年度）	70%													
	イ 支出科目														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>西春日井広域事務組合消防負担金</td> <td>764,703 千円</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	内 容	事業費	負担金、補助及び交付金	西春日井広域事務組合消防負担金	764,703 千円				
区 分	内 容	事業費													
負担金、補助及び交付金	西春日井広域事務組合消防負担金	764,703 千円													
(2) 西春日井広域事務組合権限移譲分担金															
ア 負担割合 西春日井広域事務組合格約第3条第4号に掲げる事務の処理に要する経費として、愛知県から組合市町に交付される権限移譲交付金の額															
イ 支出科目															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>西春日井広域事務組合権限移譲分担金</td> <td>22 千円</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	内 容	事業費	負担金、補助及び交付金	西春日井広域事務組合権限移譲分担金	22 千円				
区 分	内 容	事業費													
負担金、補助及び交付金	西春日井広域事務組合権限移譲分担金	22 千円													
3 事業効果 当該負担金の支出により、消防組織法で定める市町村の消防責任及び消防機関の設置義務を果たし、市民の生命、身体及び財産を火災から保護することができる。															

科目	事業名		消防施設費					
	政策体系		安全で安心して暮らせるまちをつくる					
			消防・救急医療体制の充実					
	款	09 消防費		項	01 消防費		目	03 消防施設費
	予算額 (前年度比)	財 源 内 訳						
	12,316 千円 (+1,462 千円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等	
0 千円		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	12,316 千円		
主管	1 事業目的 消防活動を行う上で必要とされる消防団詰所、消防水利などの関係施設を良好に管理し、火災時における対応の万全を期する。							
	2 事業内容							
	(1) 消防団詰所管理費 消防団の活動拠点となる消防団詰所を良好に管理する。							
	ア 主な支出科目							
			区 分	内 容		事業費		
			需用費	消耗品、電気・ガス・上下水道料金及び修繕料		1,327 千円		
			使用料及び賃借料	清洲分団詰所土地借上料など		1,799 千円		
	(2) 防火水槽等管理費							
	ア 防火水槽（91か所） 消防水利の増強を図り、市民生活の安全を確保するための防火水槽を良好に管理する。							
	イ 消火栓（1,145か所） 消火栓を管理する清須市水道事業及び名古屋市上下水道局に対し、維持管理費などの負担金を支出する。							
		清須市水道事業		名古屋市上下水道局				
		125 か所		1,020 か所				
ウ 主な支出科目								
		区 分	内 容		事業費			
		使用料及び賃借料	防火水槽土地借上料		1,166 千円			
		負担金、補助及び交付金	清須市水道事業負担金		2,073 千円			
			名古屋市上下水道局負担金		5,200 千円			
3 事業効果 適切に消防施設を維持することにより、火災発生時の諸活動を円滑に行うことができる。								

科目	事業名		消防車両費																							
	政策体系		安全で安心して暮らせるまちをつくる																							
			消防・救急医療体制の充実																							
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	03 消防施設費																				
	予算額 (前年度比)	財 源 内 訳																								
2,075 千円 (+346 千円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等																				
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	2,075 千円																				
主管	1 事業目的																									
	さまざまな災害現場での十分な対応を行うため、消防団詰所に配置している消防車両を適正に管理、整備する。																									
	2 事業内容																									
	(1) 消防車両管理費																									
	市消防団に消防車両12台を配置し、適正に管理する。																									
	ア 消防車両の配置状況																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>台 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西枇杷島分団</td> <td>CD-I型</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>清洲分団</td> <td>CD-I型</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">新川分団</td> <td>CD-I型</td> <td>3台</td> </tr> <tr> <td>救助資機材搭載型小型ポンプ積載車</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>春日分団</td> <td>CD-I型</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>12台</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	内 容	台 数	西枇杷島分団	CD-I型	3台	清洲分団	CD-I型	3台	新川分団	CD-I型	3台	救助資機材搭載型小型ポンプ積載車	1台	春日分団	CD-I型	2台	合 計		12台
	区 分	内 容	台 数																							
	西枇杷島分団	CD-I型	3台																							
	清洲分団	CD-I型	3台																							
新川分団	CD-I型	3台																								
	救助資機材搭載型小型ポンプ積載車	1台																								
春日分団	CD-I型	2台																								
合 計		12台																								
イ 支出科目																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">需用費</td> <td>軽油代</td> <td>216千円</td> </tr> <tr> <td>日常修繕、車検代及び法定点検代</td> <td>1,250千円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>損害賠償任意保険料など</td> <td>302千円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>小型ポンプ積載車に係るポンプ点検</td> <td>4千円</td> </tr> <tr> <td>公課費</td> <td>自動車重量税</td> <td>303千円</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	内 容	事業費	需用費	軽油代	216千円	日常修繕、車検代及び法定点検代	1,250千円	役務費	損害賠償任意保険料など	302千円	委託料	小型ポンプ積載車に係るポンプ点検	4千円	公課費	自動車重量税	303千円				
区 分	内 容	事業費																								
需用費	軽油代	216千円																								
	日常修繕、車検代及び法定点検代	1,250千円																								
役務費	損害賠償任意保険料など	302千円																								
委託料	小型ポンプ積載車に係るポンプ点検	4千円																								
公課費	自動車重量税	303千円																								
3 事業効果																										
消防活動に必要な不可欠な消防車両を常時良好に維持することにより、火災発生時などの迅速な出動と円滑な活動を行うことができる。																										

科目	事業名	防災活動費（防災対策費）								
	政策体系	安全で安心して暮らせるまちをつくる								
		防災・減災対策の推進								
	款	09 消防費		項	01 消防費		目	04 防災対策費		
	予算額 (前年度比)	財 源 内 訳								
10,039 千円 (△2,876 千円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等				
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	10,039 千円				
主管	1 事業目的 市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、市の有する資機材の保守、備蓄食料を確保する。									
	2 事業内容 災害発生時に迅速且つ円滑な対応を行うため、防災資機材などの維持管理及び備蓄食料の購入を行う。									
	(1) 備蓄食料（令和3年度末見込み）									
	区 分					備蓄数				
	ハーベスト					5,760 食				
	ルヴァン					32,900 食				
	ビスコ					17,100 食				
	おこげ					9,000 食				
	おかゆ					4,640 食				
	飲料水（500ml）					17,280 本				
粉ミルク					1,920 食					
(2) 主な支出科目										
区 分			内 容				事業費			
需用費			災害時備蓄食料・飲料水購入費、発電機等修繕料など				5,561 千円			
役務費			通信運搬費、手数料及び保険料				747 千円			
委託料			防災資機材保守点検業務など				1,683 千円			
使用料及び賃借料			登録制メール（すぐメール）システム使用料				792 千円			
3 事業効果 市の有する資機材を良好に維持管理し、備蓄食料を確保することで、災害発生時に迅速且つ円滑な対応を行うことができる。										
危機管理課										

科目	事業名	防災訓練費（防災対策費）																				
	政策体系	安全で安心して暮らせるまちをつくる																				
		防災・減災対策の推進																				
	款	09 消防費		項	01 消防費		目	04 防災対策費														
	予算額 (前年度比)	財 源 内 訳																				
	1,617千円 (△2千円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等															
0千円		0千円	0千円	0千円	0千円	1,617千円																
主管	1 事業目的 災害時の被害拡大を防止するため、関係機関などが一堂に会して実施する総合防災訓練を通じ、自助、共助及び公助の考えに基づいたそれぞれが担うべき活動の研さん及び関係機関などの横断的連携の構築を図る。																					
	2 事業内容																					
	(1) 期日（予定） 令和3年9月4日（土）																					
	(2) 場所（予定） 庄内川水防センター（みずとぴあ庄内）																					
	(3) 実施内容 自助、共助及び公助の考えに基づいた各々の効率的な活動を可能にするための訓練を実施する。																					
	(4) 支出科目																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>消耗品費、食糧費</td> <td>103千円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>手数料、保険料</td> <td>102千円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>訓練会場設営・撤去業務</td> <td>1,283千円</td> </tr> <tr> <td>原材料費</td> <td>訓練用砂</td> <td>129千円</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	内 容	事業費	需用費	消耗品費、食糧費	103千円	役務費	手数料、保険料	102千円	委託料	訓練会場設営・撤去業務	1,283千円	原材料費	訓練用砂	129千円
	区 分	内 容	事業費																			
	需用費	消耗品費、食糧費	103千円																			
	役務費	手数料、保険料	102千円																			
委託料	訓練会場設営・撤去業務	1,283千円																				
原材料費	訓練用砂	129千円																				
3 事業効果 総合防災訓練の実施により、市民の防災意識の向上及び関係機関の横断的対応が強化され、もって災害時の被害軽減が期待できる。																						
危 機 管 理 課																						

科目	事業名	地域防災リーダー養成費（防災対策費）																	
	政策体系	安全で安心して暮らせるまちをつくる																	
		防災・減災対策の推進																	
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 防災対策費													
	予算額 (前年度比)	財 源 内 訳																	
471 千円 (±0 千円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等													
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	471 千円													
主管	1 事業目的	災害時の被害をできる限り少なくするため、市民の方々に地域における防災リーダーとしての意識付けを行い、避難所運営等が行える人材を養成する。																	
	2 事業内容	災害発生時に、避難所の運営や防災・減災活動を幅広く行うことのできる人材を養成するため、地域防災リーダー養成講座を開催する。																	
	(1) 実施回数	ア 新規講座 3回 イ フォローアップ講座 2回（うち1回（防災講演会）は新規講座と共通）																	
	(2) 受講人数	各回50人程度（防災講演会は200人程度）																	
	(3) 支出科目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">需用費</td> <td>消耗品費</td> <td>35 千円</td> </tr> <tr> <td>防災講演会チラシ作成費</td> <td>11 千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">役務費</td> <td>案内通知郵送料</td> <td>27 千円</td> </tr> <tr> <td>講師派遣手数料</td> <td>398 千円</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	内 容	事業費	需用費	消耗品費	35 千円	防災講演会チラシ作成費	11 千円	役務費	案内通知郵送料	27 千円	講師派遣手数料	398 千円
	区 分	内 容	事業費																
	需用費	消耗品費	35 千円																
		防災講演会チラシ作成費	11 千円																
	役務費	案内通知郵送料	27 千円																
		講師派遣手数料	398 千円																
3 事業効果	講義、グループワーク及び防災講演会などを通じて地域防災リーダーを養成し、地域防災力の更なる向上を図ることができる。																		
	また、過去に実施した地域防災リーダー養成講座の修了者に対して、フォローアップの講座を行うことにより、防災・減災活動を幅広く行うことのできる人材を養成することができる。																		
危																			
機																			
管																			
理																			
課																			

科目	事業名	自主防災活動支援補助金（防災対策費）				
	政策体系	安全で安心して暮らせるまちをつくる				
		防災・減災対策の推進				
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 防災対策費
	予算額 (前年度比)	財 源 内 訳				
	7,480千円 (±0千円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他
主管	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	7,480千円
危 機 管 理 課	1 事業目的 地域住民が自主的に設立した防災組織の育成を図るため、自主防災組織の防災資機材購入などに対し、補助金を交付する。					
	2 事業内容 清須市自主防災組織補助金交付要綱及び清須市消火器の消火薬剤詰め替え費補助金交付要綱の規定により、補助金を交付する。					
	(1) 自主防災組織補助金					
	ア 防災資機材購入事業（ハード事業）					
	区 分		内 容			
	情報伝達用資機材		携帯用ラジオ、トランシーバー、メガホン、ハンドスピーカー及び仮設用掲示板など			
	消火用資機材		消火用ホース、格納器具一式、バケツ、ヘルメット、防火衣、とび口、消火器及び消火器格納箱など			
	救助用資機材		チェーンソー、ジャッキ、スコップ、ハンマー、バール、ロープ、つるはし、おの、のこぎり及びはしごなど			
	救護用資機材		救急医療用具、担架、車椅子、テント、簡易トイレ及び毛布など			
	避難用資機材		発電機、投光機、コードリール、強力ライト、リヤカー、腕章及びヘッドランプなど			
給食給水用資機材		給水タンク、浄水機、ビニールシート、釜、鍋、保存用食料及び飲料水など				
イ 自主防災組織活性化事業（ソフト事業） 手づくりハザードマップの作成及び研修会の開催など						
(2) 消火器の消火薬剤詰め替え費補助金 火災や防災訓練などで使用された消火器の消火薬剤の詰め替えに要する費用に対して、補助金を交付する。						
(3) 主な支出科目						
区 分		内 容		事業費		
負担金、補助及び 交付金	自主防災組織補助金		6,350千円			
	消火器の消火薬剤詰め替え費補助金		1,122千円			
3 事業効果 防災資機材購入事業（ハード事業）や自主防災組織活性化事業（ソフト事業）を通じ、自主防災組織の活動を支援することにより、地域防災力の向上に資することができる。						

科目	事業名	地域防災組織育成助成事業費補助金（防災対策費）											
	政策体系	安全で安心して暮らせるまちをつくる											
		防災・減災対策の推進											
	款	09 消防費		項	01 消防費		目	04 防災対策費					
	予算額 (前年度比)	財 源 内 訳											
2,000 千円 (±0 千円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等							
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	2,000 千円	0 千円							
主管	<p>1 事業目的</p> <p>地域防災活動の中心となる自主防災組織が、防災・減災活動を行うために整備する資機材などに対し、補助金を交付する。これにより、自主防災組織の育成及び防災・減災活動を支援する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>自主防災組織が活動を行うため、ブロック単位で設置・管理する防災用資機材の購入費用の一部を補助する。</p> <p>(1) 支出科目</p> <table border="1" data-bbox="354 1034 1452 1164"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>防災資機材等整備 (清洲第1ブロック自主防災組織)</td> <td>2,000 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業効果</p> <p>資機材購入の支援を通じ、ブロック単位での自主防災活動の活性化を図り、地域防災力の向上を図ることができる。</p>							区 分	内 容	事業費	負担金、補助及び交付金	防災資機材等整備 (清洲第1ブロック自主防災組織)	2,000 千円
	区 分	内 容	事業費										
	負担金、補助及び交付金	防災資機材等整備 (清洲第1ブロック自主防災組織)	2,000 千円										
	危 機 管 理 課												

科目	事業名	防災行政無線費						
	政策体系	安全で安心して暮らせるまちをつくる						
		防災・減災対策の推進						
	款	09 消防費		項	01 消防費		目	04 防災対策費
	予算額 (前年度比)	財 源 内 訳						
23,497千円 (+4,835千円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	23,497千円		
主管								
危機 管理 課	1 事業目的 防災行政の生命線とされる防災行政無線設備を常時良好な状態に維持・管理し、災害時の諸活動における連絡体制を確立させ、市民生活の安全と安心を確保する。							
	2 事業内容							
	(1) 防災行政無線管理費 防災行政無線が不具合なく使用できるよう、常に良好な状態に管理する。							
	ア 防災行政無線の設置状況							
	同報系			移動系				
	親局、屋外拡声子局（110基）			親局、半固定型（58基）、車載携帯型（28基）及び携帯型（70基）				
	イ 支出科目							
	区分	内容					事業費	
	需用費	消耗品費、光熱水費（電気）、屋外子局蓄電池交換（同報系）、端末無線装置電池交換（移動系）など					8,985千円	
	役務費	電話回線使用料					440千円	
委託料	防災行政無線保守点検業務（同報系・移動系・Jアラート）、防災行政無線（移動系）再免許申請情報作成業務など					11,885千円		
使用料及び賃借料	電波利用料					71千円		
負担金、補助及び交付金	県防災行政無線運営協議会分担金					2,116千円		
3 事業効果 電波法に定める管理状態を良好に維持することにより、無線使用環境を確保することができる。								

科目	事業名	新川ふれあい防災センター費								
	政策体系	安全で安心して暮らせるまちをつくる								
		防災・減災対策の推進								
	款	09 消防費		項	01 消防費		目	04 防災対策費		
	予算額 (前年度比)	財 源 内 訳								
12,530千円 (+213千円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等				
	0千円	1,324千円	0千円	0千円	204千円	11,002千円				
主管	1 事業目的 災害時の避難場所及びコミュニティ活動などを推進するため、施設の適切な管理、運営を行う。									
	2 事業内容 新川ふれあい防災センターを良好に管理する。									
	(1) 利用件数（見込み）									
	区 分					延べ利用件数				
	集会室Ⅰ					400 件				
	集会室Ⅱ					500 件				
	和室					230 件				
	会議室					420 件				
	多目的広場					300 件				
	合 計					1,850 件				
危 機 管 理 課	(2) 支出科目									
	区 分			内 容				事業費		
	需用費			消耗品費、印刷製本費、光熱水費及び修繕料				2,645 千円		
	役務費			通信運搬費、手数料及び保険料				230 千円		
	委託料			清掃業務、警備業務、保守点検業務及び施設管理業務				9,147 千円		
	使用料及び賃借料			NHK放送受信料及び清掃用具等借上料など				508 千円		
	3 事業効果 施設を適切に維持管理することにより、災害時における防災活動拠点及び平常時における交流拠点としての機能を確保することができる。									

科目	事業名	庄内川水防センター費				
	政策体系	安全で安心して暮らせるまちをつくる				
		治水対策の推進				
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 防災対策費
	予算額 (前年度比)	財 源 内 訳				
4,183 千円 (△50 千円)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
	0 千円	1,352 千円	0 千円	0 千円	561 千円	2,270 千円
主管	1 事業目的 災害時の避難場所及びコミュニティ活動などを推進するため、施設の適正な管理、運営を行う。					
	2 事業内容					
	(1) 庄内川水防センター管理費 庄内川水防センターを良好に管理、運営する。					
	ア 利用件数（見込み）					
	区 分			利用件数（見込み）		
	多目的会議室			462 件		
	イ 支出科目					
	区 分		内 容		事業費	
	需用費	消耗品費		111 千円		
		光熱水費		1,708 千円		
修繕料		238 千円				
飼料費		11 千円				
役務費	通信運搬費		79 千円			
	し尿汲取手数料など		94 千円			
	火災保険料		13 千円			
委託料	施設管理業務		1,041 千円			
	自家用発電機、消防用設備及び浄化槽の保守業務など		880 千円			
負担金、補助及び交付金	防火管理者講習負担金		8 千円			
3 事業効果 施設を適切に維持管理することにより、災害時における防災活動拠点及び平常時における交流拠点としての機能を保持することができる。						

科目	事業名	(仮称) 五条川防災センター費				
	政策体系	安全で安心して暮らせるまちをつくる				
		防災・減災対策の推進				
	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 防災対策費
	予算額 (前年度比)	財 源 内 訳				
7,535 千円 (皆増)	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	7,535 千円
主管	1 事業目的 市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、指定避難所及び防災資機材等備蓄倉庫としての機能を有した施設を整備する。					
	2 事業内容 指定避難所及び防災資機材等備蓄倉庫としての機能を有した施設を整備するための基本設計を行う。					
	(1) 支出科目					
	区 分		内 容		事業費	
委託料		基本設計業務		7,535 千円		
危 機 管 理 課	3 事業効果 五条川右岸側に防災資機材等備蓄機能を有した施設を整備することにより、市の均衡ある防災機能の向上を図ることができ、もって市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができる。					